

学校名	桑折町立醸芳小学校	校長	伊藤 好幸
住所	伊達郡桑折町字桑島三・2-8		
TEL	582-2014	ホームページアドレス	http://www.kori.gr.fks.ed.jp/?page_id=15

「よい歯の学校を目指して」

醸芳小学校の校名は、維新の三傑木戸孝允の書に由来しています。平成27年5月現在の児童数は294名で13学級です。

- <教育目標>
- 健康で明るい子ども
 - よく考えて学ぶ子ども
 - 親切で思いやりのある子ども
- <合い言葉> 「こつこつ とことん あきらめない」
(勤勉・責任・根気)

全校で合い言葉をもとに、元気に頑張って学校生活を送っています。その取組みの一つとして、よい歯の学校を目指しています。



(醸芳小学校校舎風景)

取組みの概要

本校は、よい歯の学校を目指して、いろいろな取組みをしています。その一つとして、平成16年度からむし歯の予防のためにフッ素洗口を実施しています。

その結果、一人当たりのむし歯の本数が減少したり治療率がよくなったりしました。歯科保健の推進に努めていることから学校歯科保健優良校や努力校として毎年表彰されています。年間の取組みの中で、毎年保健集会で学校歯科医の齋藤慎一先生より歯の大切さと予防についてお話をいただき、一人一人の意識を高め、家庭との連携を図りながらよい歯の学校を目指しています。

内容

よい歯の学校を目指して以下のことを全校で取り組んでいます。

- 学級ごとの給食後の歯みがきタイム
- フッ素洗口
- 保健集会、PTA全体会での学校歯科医の講話
- PTA保健体育委員会による親子での歯の染め出しの実施



(歯みがきタイム)



(保健集会)

歯の健康週間に合わせて、保健集会を実施しました。講師は学校歯科医の齋藤慎一先生でした。「歯の健康について」分かりやすくお話いただきました。子どもたちは、歯の健康を守るために歯みがきの重要性や歯を強くするためにどうしなければならないかについて学びました。

先生の話では、フッ素洗口を始めてから、一人当たりのむし歯の本数が減ってきたことなど取り組んできてよかったことがお話されました。家庭でも甘い食べ物の取り方や歯みがきとむし歯の治療を進めていくことが大切であることがよく分かりました。

児童の感想

- むし歯がないので、歯みがきなどをしてこれからも歯を大切にしたいと思います。
- 「8020」運動の目指している80才まで歯を20本残せるように、むし歯は早く治療します。
- むし歯予防の「よ坊さん」の話は、よく分かりました。学んだことを実行していきます。